

地域の皆さんとつよきと考える まちづくり懇談会

宇都宮市のまちづくりなどについて、地域の皆さんと市長が直接話し合う「まちづくり懇談会」を各地区で開催しています。

今回は、平成19年10・11月に開催した第6～8回の結果（ページ下欄）と主な意見を紹介します。懇談会の詳しい内容は、市ホームページ、または、開催地区の地域コミュニティセンター（陽東・富士見地区）、南生涯学習センター（緑が丘地区）でご覧になれます。

☎ 広報広聴課 (632) 2022



今後の開催予定

回	地区	開催日時	会場
9	上河内	2月8日(金) 午後6時30分～	上河内地域自治センター (中里町)
10	河内	2月14日(木) 午後6時30分～	河内総合福祉センター (白沢町)

※会場に託児所を開設します（対象は2歳以上の未就学児）。託児を希望する人は、開催日の3日前までに、電話で、広報広聴課☎(632)2022へ。

安全で安心なまちづくり

意見 住宅団地や商業施設の建設により急速に都市化が進む一方で、生活環境の悪化が懸念されている。地域では行政と連携を図り、住民を対象とした講習会を開催するなど、犯罪や交通事故の抑制に向け努力していくので、行政と地域が連携して、防犯・防災に取り組めるようなシステムの構築をお願いしたい。

回答 防犯面では、活動団体相互で情報を共有することは活動の強化につながることから、防犯活動団体の全体的なネットワークの構築に取り組んでいます。平成20年度までに全地区で構築することを目指しており、これらを中心に、地区内の団体相互や地域と行政との相互連携を図っていきます。

防災面では、今後も地域の皆さんと連携して総合防災訓練を実施していくほか、自衛隊や警察などと日ごろからより連携を強めるため、新たに「国・県・市災害対策連絡協議会」を設置しました。今後関係機関が一体となり防災

地域への補助金の包括化について

活動に取り組んでいきます。

意見 現在、各種団体に縦割りで交付されている補助金の包括化について、早期に実現していただきたい。

また、交付方法については、2段階での交付方法を提案したい。一定額を一次配分し、不足額分を二次配分することで補助金が有効に使用され、また、軽減が見込めると考えている。

回答 補助金の包括化など、地域主体のまちづくりを推進するための予算を大切にしていくため、各地域の実情を踏まえた手法の検討が必要と考えています。

ご提言は、限りある財源を効果的・効率的に活用し、地域の個性や特性を生かしたまちづくりの実現に向けての画期的なご意見と考えています。今後も、ご意見を視野に入れ、地域が有効に活用できるような手法を検討していきます。

高齢者の見守りについて

意見 独り暮らし高齢者が増

本文中に費用などの記載がないものは、原則として無料。
HP ホームページ ☑ Eメールアドレス

加している中、悲惨な孤独死などが相次ぎ、高齢者の見守り活動の強化が大きな課題となっている。地域では、自治会単位によるネットワークの一層の強化に努めていくので、活動に必要な情報の提供や、市が行っている独り暮らし高齢者の見守り活動の対象者に二人暮らしの高齢者世帯を加えるなど、対象者の拡大をお願いしたい。

回答 現在、独り暮らし高齢者の実態調査は、個人情報保護の観点から民生委員にお願いし、年1回行っていますが、民生委員をはじめとする地域の皆さんが行う日常活動の中でも、情報交換をしながら見守り対象者を拡大するなど、協力をお願いします。また、市をはじめとし、地域福祉の拠点として設置した地域包括支援センターでも、活動に必要な情報を提供しています。

市が取り組んでいる独り暮らし高齢者見守り活動の対象者については、二人暮らし高齢者世帯などへの見守りも必要であると認識していますので、今後地域の皆さんと連携しながら対象者の拡大に順次取り組んでいきます。

◎10・11月に開催したまちづくり懇談会の結果 ■第6回（陽東地区） 10月9日(火)、陽東地域コミュニティセンター、46人参加。■第7回（富士見地区） 10月31日(水)、富士見地域コミュニティセンター、51人参加。■第8回（緑が丘地区） 11月14日(水)、南生涯学習センター、106人参加。多数のご参加をいただきありがとうございます。☎ 広報広聴課 (632) 2022